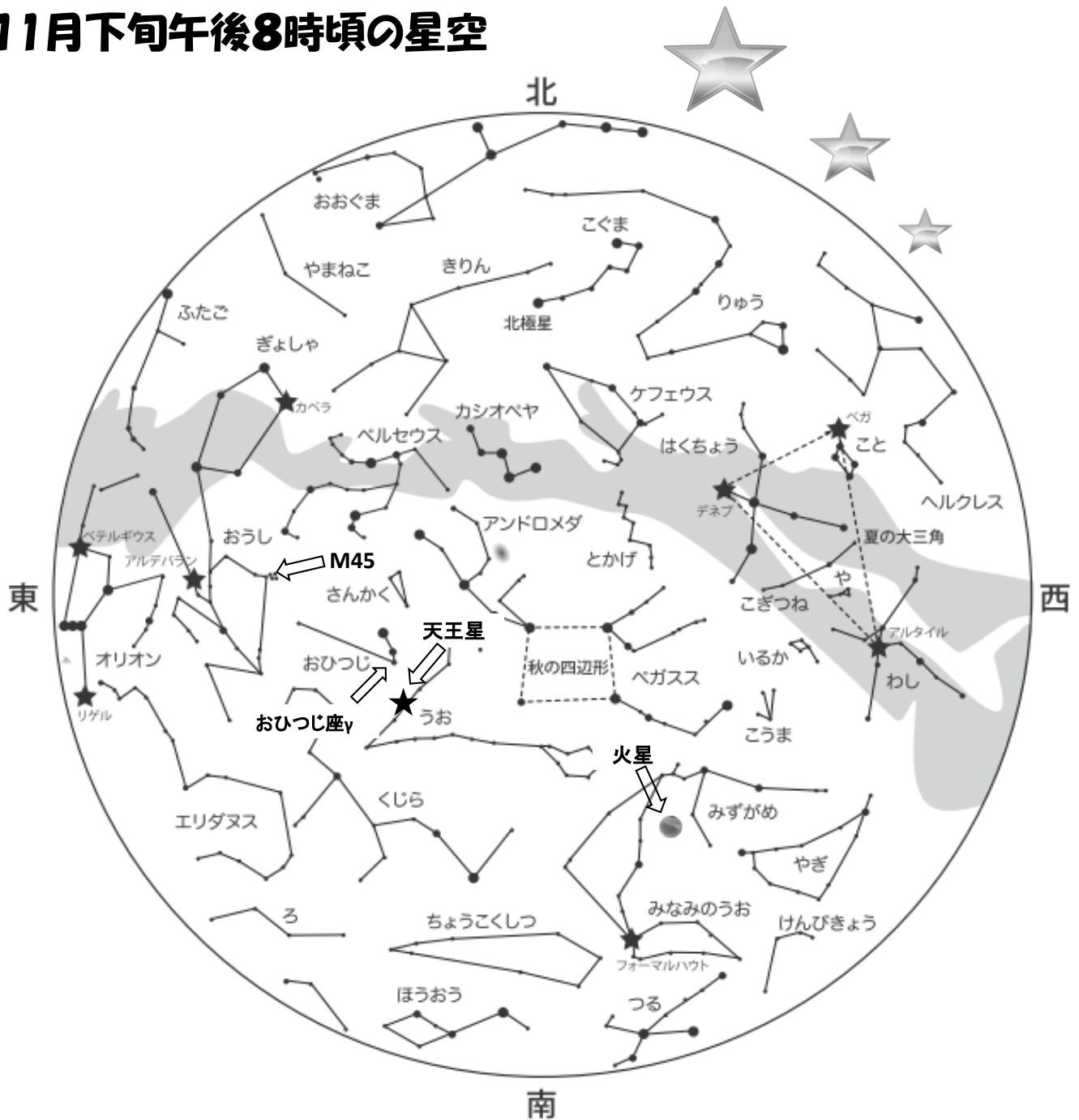


# 松江市立天文台～11月の天文教室～

平成30年11月28日

## 11月下旬午後8時頃の星空



季節は秋から冬へ移ろうとしています。冬至まで3週間ですが、日の入りが最も早いのは今頃で、太陽は午後5時より早く沈んでしまいます。

暗くなるのが早いので、夏を象徴する夏の三大角が西の空にあり、秋の四辺形が真上に、そして冬の星座が東から昇ってくるのを同時に見ることができます。

11月下旬午後8時頃の星空です。

月は午後10時過ぎに昇ってきます。

天王星は位置を示していますが、実際は肉眼で見えることは困難です。

この星図で星を探すときは、見る方角を下にしてみましょう。

## 火星と天王星

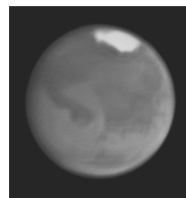
この二つの天体は、私たちの地球と同じく太陽の周りを回る太陽系惑星の仲間です。

### ○火星

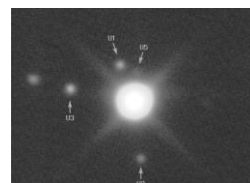
今年の夏は大接近で話題になりましたが、現在も南の空で赤く輝いて見えます。

### ○天王星

天王星は直径が地球のおよそ4倍ありますが、太陽との距離が地球の19倍あまりと大変遠い惑星です。肉眼で見つけるのは困難で、天体望遠鏡で拡大すると青く光る姿を観察できます。

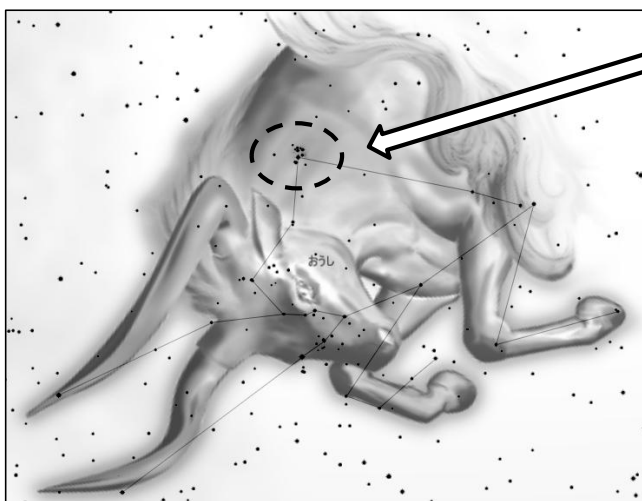


火星



天王星

## M45 (プレアデス)



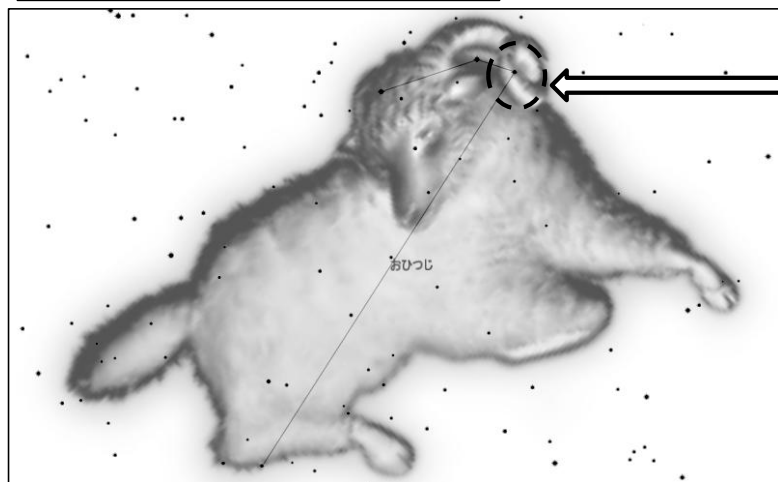
### M45 プレアデス星団 松江星の会 古都さん撮影

M45はおうし座にある散開星団です。肉眼でも数個の星の集まりが見え、双眼鏡では数十の星が視野に広がります。

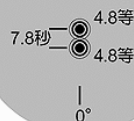
日本でも「すばる」の名で古くから知られ、清少納言の枕草子にもその名が登場します。

私たちから約400光年余りの距離にあります。  
※天文年鑑では距離を410光年としています。

## おひつじ座γ星



メサルティム (γAri)



おひつじ座γ(ガンマ)星を天体望遠鏡で見ると、同じ明るさの白い星が二つ並んで見える二重星です。

おひつじ座はおうし座のとなりにある目立たない星座ですが古くからある星座で、星占いでは、一番最初の星座になっています。

天体望遠鏡のしくみにより、視野の上下左右が逆に見えることがあります。また、空や大気状況により見え方は違いますので、ご了承ください。

### 次回天文教室は「日食を観察しよう」

○開催日 1月6日(日) 午前8時30分～11時30分(朝の8時30分です！)

○場所 末次公園(松江市役所前)

太陽が月によって隠される様子を天体望遠鏡や日食グラスで観察します。9時53分ごろ太陽の直径の約37%が欠けて見えます。



Matsue Astronomy Club  
MAC 松江星の会